

秦野市ごみ処理基本計画案に対するパブリックコメントの実施結果について

1 意見募集期間

令和3年11月16日（火）から同年12月16日（木）まで

2 意見募集の周知方法

広報はだの11月15日号及び市ホームページ

3 構想案の公表方法

- (1) ホームページへの掲載
- (2) 公民館、図書館及び駅連絡所における閲覧
- (3) 本庁舎行政情報閲覧コーナーにおける閲覧
- (4) 環境資源対策課における閲覧

4 意見提出方法

郵送、FAX、電子メール及び持参の方法による

5 提出された意見の内容及びその取扱い等

内容分類	件数	意見への対応区分（※）				
		A	B	C	D	E
第1章 計画の策定に当たって（p.1～6）	11	8		1	1	1
第2章 ごみ処理の現状と課題（p.7～50）	44	30	1	4	5	4
第3章 人口とごみ量の将来予測（p.51、52）						
第4章 基本理念及び基本方針（p.53～61）	21	17		1	1	2
第5章 個別施策（p.62～83）	43	12	8	22		1
第6章 計画の実現に向けて（p.84）						
その他全般	3	3				
計	122	70	9	28	7	8

※ 意見への対応区分

- A：意見等の趣旨等を構想に反映したもの
- B：意見等の趣旨等は既に構想に反映されていると考えるもの
- C：今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
- D：構想に反映できないもの
- E：その他（感想、質問等）

秦野市ごみ処理基本計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
1	p.1	第1節 「人口は164,243人、世帯数は70,381世帯(令和2年10月1日現在)で～」とありますが、秦野市政策部行政経営課が秦野市ホームページで公開している、「令和2年10月(No.559)人口と世帯」にて令和2年10月1日現在の人口と世帯数は、人口は162,579人、世帯数は70,381世帯となっています。どちらが記載にふさわしい数値なのでしょう？	A	令和2年度国勢調査結果の集計が進むにつれてホームページのとおり修正されたものです。その後さらに令和2年度国勢調査結果の確定値が公表されましたので、人口162,439人、世帯数70,478世帯に修正します。
2	p.1	第1節 「人口は164,243人、世帯数は70,381世帯(令和2年10月1日現在)で～」とありますが、今年度に改定するものですので、少なくとも令和3年4月1日現在の数値を採用した方がより適していると思いますが、どうでしょうか？	D	ごみ処理基本計画においては国や県においても各年度の10月1日時点人口と年度末の処理実績を用いているため、令和2年10月1日人口と令和2年度処理実績を最新の値として採用します。
3	p.1	第1節 第1節内で、数値が半角と全角が統一されていないので、統一した方が見やすいと思いますが、どうでしょうか？	A	視覚障害者などが使用される読み上げソフトに対応するため、本文における2桁以上の数字は半角に統一します。
4	p.1	第2節 「～国全体での循環型社会の実現に向け取り組んでいます。」とありますが、言葉の繋がりを整えるために、「～国全体での循環型社会の実現に向け、取り組んでいます。」か、「～国全体での循環型社会の実現に向けて取り組んでいます。」にした方が良いと思いますが、どうでしょうか？	A	「～国全体での循環型社会の実現に向けて取り組んでいます。」に修正します。
5	p.1	第2節 「～において「きれいで快適な生活環境の確保」及び「ごみの減量と資源化を推進」を～」とありますが、総合計画の基本施策番号に合わせて、「～において「ごみの減量と資源化を推進」及び「きれいで快適な生活環境の確保」を～」にした方が良いと思いますが、どうでしょうか？	A	「～において「ごみの減量と資源化の推進」及び「きれいで快適な生活環境の確保」を～」に修正します。
6	p.1	第2節 「中間目標年度に当たることから～」とありますが、「第1章 計画の策定にあたって」と同じ文内容で平仮名表記と漢字表記で異なっていますので、統一にした方が良いと思いますが、どうでしょうか？	A	漢字表記に統一します。

秦野市ごみ処理基本計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
7	p. 1	<p>第2節 「この間に生じた、「食品ロスの削減の推進に関する法律」や「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の成立といった～」とありますが、同意味の単語が重なり文内容に違和感がありますので、「この間に、「食品ロスの削減の推進に関する法律」や「プラスチックに係る資源環境の促進等に関する法律」の成立といった～」にした方が良いと思いますが、どうでしょうか？</p>	A	「この間に、「食品ロスの削減の推進に関する法律」や「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の成立といった～」に修正します。
8	p. 3	<p>第4節 本計画と特に関係性が深いSDGsの取組みとして、目標11・目標12・目標14・目標15・目標17・が記載されていますが、本計画の15頁に「4 ごみ処理における地球温暖化対策の取組み」が設けられているので、本計画と特に関係性が深いSDGsの取組みとして、目標13も加えるべきだと思いますが、どうでしょうか？ ※ちなみに、令和3年11月2日に行われた部長会議における資料1には、目標17が掲載されていません。 (参考) https://www.city.hadano.kanagawa.jp/www/contents/1001000003652/simple/5031102_bucyokaigi_houkoku.pdf (01_部長会議付議事案書 (city.hadano.kanagawa.jp))</p>	A	目標13を加え、目標11・目標12・目標13・目標14・目標15・目標17の6つにします。
9	p. 4	<p>第5節 「潜在ごみ(市が把握できないもの)」とありますが、具体的にどのようなものかいくつか例を挙げたら良いと思いますが、どうでしょうか？</p>	A	図2の「潜在ごみ」に「例：資源の店頭回収や生ごみの自家処理（自宅での堆肥化など）」と付記します。

秦野市ごみ処理基本計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画面 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
10	p. 4	<p>第5節 「生活排水処理計画」とありますが、その計画はホームページ上などで公開されていないので、公開するようにしてください。パブリックコメント募集履歴を平成25年まで遡って確認しましたがありませんでした。生活排水も一般廃棄物の一つであるならば、秦野市ごみ処理基本計画と合わせて改定をして、秦野市ごみ処理基本計画と同様にパブリックコメントを募集するべきだと思いますが、どうでしょうか？</p> <p>（参考） https://www.city.isehara.kanagawa.jp/docs/2021111700014/ （伊勢原市ごみ処理基本計画（案）及び伊勢原市生活排水処理基本計画（案）のパブリックコメントの実施について 伊勢原市 (city.isehara.kanagawa.jp)）</p>	E	いただいた御意見を関連部署に情報提供するとともに、今後の参考にさせていただきます。
11	p. 6	<p>第7節 「～人口とごみ量の将来予測～」とありますが、11頁他では「ごみの量」と記載されており「ごみの量」の方が読みやすいと思いますが、どうでしょうか？</p>	C	いただいた御意見は、今後の参考にさせていただきます。
12	p. 7	<p>文頭にずれが生じています。 第2章 ごみ処理の現状と課題 第1節 ごみ処理の現状 1 ごみ排出量の推移 (1) 総ごみ排出量 総ごみ排出量は、次のとおりです。 総ごみ排出量とは、計画収集量、自己搬入ごみ、集団資源回収及び事業系ごみの合計を指します。 人口は、平成21年度には17万人を超えたピークを迎え、その後は減少傾向が続いています。総ごみ排出量は、平成25年度以降から</p>	A	位置を整えます。
13	p. 8	<p>(2) 市民一人1日当たりのごみ排出量の推移 文頭にずれが生じています。</p>	A	位置を整えます。
14	p. 9	<p>(3) 家庭系ごみ及び事業系ごみの排出量の推移 文頭にずれが生じています。</p>	A	位置を整えます。

秦野市ごみ処理基本計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画面 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
15	p. 11	(4) 他都市との比較 文頭にずれが生じています。	A	位置を整えます。
16	p. 11	(4) 他都市との比較 「図9 他都市との比較分析結果」とありますが、掲載されている図は分析した結果ではなく、比較した結果だと思います。 ここで分析結果として図を掲載するならば、例えば、他都市と比べてリサイクル率が高いのに家庭ごみ排出量が多い原因を分析した結果や、他都市と比べてリサイクル率が高いのに直接焼却量がほぼ平均値である原因を分析した結果などを併記して、ようやく「図9 他都市との比較分析結果」と表記できると思います。今の図ではごみの量などの比較を載せている図ですので、「図9 他都市との比較結果」とした方が良いと思いますが、どうでしょうか？	A	「図9 他都市との比較結果」に修正します。
17	p. 15	4 ごみ処理における地球温暖化対策の取組み 「～収集車両はハイブリッド車などの低公害車を導入しています。」とありますが、1台だけ導入していることと5台導入していることでは効果も変わるとは思います、具体的にどの程度導入しているか記載した方が良いと思いますが、どうでしょうか？	A	「そのため、環境への配慮として、市が保有する10台の収集車両はすべて低公害車であるハイブリット車を導入しています（令和4年2月1日現在）。」に修正します。
18	p. 15	4 ごみ処理における地球温暖化対策の取組み ここで記載されているとおり、ごみの収集運搬で温室効果ガスが発生することから、効率的な収集運搬が必要です。後述でも示しますが、座間市は2019年6月に小田急電鉄㈱と締結した「サーキュラー・エコノミー推進に係る連携と協力に関する協定」に基づいて、2020年4月から座間市内の資源物・ごみ収集業務のスマート化に向けた実証実験を行っています。これによって収集作業の効率化などが進んで走行距離は約20%、燃料代は約30%近く削減できたとのことです。 秦野市におけるデジタル社会の実現への一助の意味も含めて、検討したらどうでしょうか？ (参考) https://www.odakyu.jp/news/o5oaa1000001os4k-att/o5oaa1000001os4r.pdf (o5oaa1000001os4r.pdf (odakyu.jp)) https://www.nhk.or.jp/shutoken/wr/20211102a.html (神奈川 座間で進むごみ収集のデジタル化 効果は防災対策にまで NHK) https://youtu.be/i0EXSTkgFyU (小田急×座間市 廃棄物収集のスマート化に向けた挑戦)	C	先行自治体の取組みを参考に検討します。

秦野市ごみ処理基本計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
19	p. 18	表3 イベントにおける啓発活動(令和元年度実績) 表内のイベント名は正確に記載した方が良いと思いますが、どうでしょうか？	A	正式名称と異なっていた「丹沢まつり」「商工まつり」「たばこ祭」「市民の日」についてそれぞれ、「秦野丹沢まつり」「秦野市商工まつり」「秦野たばこ祭」「秦野市市民の日」に修正します。
20	p. 20	キ リユース促進事業「リユース！もったいないDay！」 「フードドライブ」とありますが、まだまだ日常的に頻繁に使われる言葉ではないため、注釈を設けた方が良いと思いますが、どうでしょうか？	A	「フードドライブ」に「家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄附する活動（出典：食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針（令和2年3月31日閣議決定）」と注釈を加えます。
21	p. 20	キ リユース促進事業「リユース！もったいないDay！」 「みんなの食堂」とありますが、こちらが何を示しているかわかりません。注釈を設けてください。	A	「みんなの食堂」に「無料又は低額で食事を提供するほか、多世代交流の場や子どもの居場所として、また、地域で子どもを見守る拠点として民間団体が運営しています」と注釈を加えます。
22	p. 22	(4)集団資源回収 そもそも、「集団資源回収」という事業がどのような内容かわかりません。集団がどのような単位であるのか、資源物は全種類回収できるのかなど、少なくとも概要は記載すべきだと思いますが、どうでしょうか？	A	「資源の回収機会を確保するだけでなく、環境教育や地域コミュニティの育成といった効果があります。」を「集団資源回収は、自治会、PTA、子ども会などが主体となり、あらかじめ市に登録した上で、特定の日に古紙、アルミ缶、布類等の資源を回収し、市が委託する資源回収業者に引き取ってもらう活動です。資源の回収機会を確保するだけでなく、環境教育や地域コミュニティの育成といった効果があり、市は資源物回収団体に対し、回収した資源物1kg当たり4円の奨励金を交付しています。」と修正します。

秦野市ごみ処理基本計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画面 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
23	p. 22	(4) 集団資源回収 「資源の回収機会を確保するだけでなく～」とありますが、「資源物の回収機会を確保するだけでなく～」の方がより適した内容だと思いますが、どうでしょうか？	D	本計画では「資源物」は分別品目の一名称として用いているため、案のままとします。
24	p. 24	(6) 事業所への訪問調査 「調査を通じて、事業所ごとのごみの処理状況を把握するとともに、分別や資源化の提案を行っています。」とありますが、分別や資源化そのものよりも、それに関する取り組みについて提案していると思いますので、「調査を通じて、事業所ごとのごみの処理状況を把握するとともに、分別や資源化を推進するための取り組みなどを提案しています。」の方が良いと思いますが、どうでしょうか？	A	「調査を通じて、事業所ごとのごみの処理状況を把握するとともに、分別や資源化を推進するための取り組みなどを提案しています。」に修正します。
25	p. 24	表11優良事業所等認定制度の認定状況、表12ごみ減量協力店登録制度の登録状況それぞれ令和3年度の認定数や登録数が記載されていますが、せつかくなら事業所名や業者名、店名を記載した方が、協力店等のイメージアップやモチベーションアップに繋がり、この制度がより多くの事業者などに広まるとと思いますが、どうでしょうか？	C	いただいた御意見は、今後の参考にさせていただきます。
26	p. 25	(8) 環境美化指導員による定期的な巡回 「環境美化指導員により～」とありますが、そもそもこの方はどのような身分の方なのでしょう。秦野市職員なのか、民生委員などの身分の市民の方なのか、ボランティアなのか分からないので注釈を設けてください。	A	「環境美化指導員」について「秦野市ごみの散乱防止等に関する条例に基づき、環境美化重点地区における不法投棄の防止に関する啓発、指導等のため任命する会計年度任用職員」と注釈を加えます。 また、「環境美化重点地区」について「秦野市ごみの散乱防止等に関する条例に基づき、環境の美化を推進するため、空き缶等及び吸い殻等の散乱並びに犬その他愛がん動物のふん等による汚染の防止を特に必要と認める区域として市長が指定する区域」と注釈を加えます。

秦野市ごみ処理基本計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
27	p. 27	(1)夜間戸別収集 「歩行者の安全性の確保・・・を目的として～」とありますが、何故、夜間戸別収集が歩行者の安全性の確保に繋がるのかわかりません。	E	夜間戸別収集を行っている東海大学前駅南口の南矢名一丁目地域は、収集時間帯と学生の通学時間が重なり、多くの学生が道路を往来する中での収集は交通事故等の危険性が高まるため、夜間に収集を行っているものです。
28	p. 27	(1)夜間戸別収集 「収集効率の向上・・・を目的として～」とありますが、戸別収集よりも通常の収集場所での収集の方が収集効率は良いと思いますが、何故、該当地区では夜間戸別収集の方が収集効率が良いと考えているのでしょうか。	E	夜間戸別収集を行っている秦野駅北口の本町一丁目及びその沿道は、路上のごみ収集場所が多いことに加え、収集時間帯の交通量も多いこと、また、東海大学前駅南口の南矢名一丁目地域は、収集時間帯と学生の通学時間が重なり、多くの学生が道路を往来する中での収集は交通事故等の危険性が高まるため、夜間に収集を行うことで、歩行者の安全性の確保や収集効率の向上を図っています。
29	p. 32	(2)資源の中間処理、再生利用等(続き) 「資源の処理量は～」とありますが、「総資源化量は～」にした方が良いと思いますが、どうでしょうか？	A	いただいた御提案のとおり修正します。
30	p. 34	(1)数値目標の達成状況 表19には「令和2年度実績」と「令和3年度目標値」のみで、本計画策定時に定めた数値目標がないため、達成状況が一目でわかりづらいです。本計画策定時に定めた目標数値を入れた方が良いと思いますが、どうでしょうか？	A	本計画策定時に定めた数値目標が「令和3年度目標値」であるため、「令和3年度目標値（本計画策定時に定めた数値目標）」に修正します。

秦野市ごみ処理基本計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画面 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
31	p. 35	<p>表20 未着手の事業</p> <p>「1 家庭ごみ有料化に向けた具体的な条件の検討」にて、今後の方向性が記載されており「～計画よりも順調に減量が進んでいるため、有料化することなく可燃ごみの減量を図ります。」とありますが、現時点では、どの時点で可燃ごみ量がどの量に達していると検討を始めないといけないのでしょうか。そのような検討時期が決まっているなら、記載した方が良いと思いますが、どうでしょうか？</p>	B	<p>表20に記載のとおり、令和3年度までに焼却対象量の減量が計画どおり進まない場合に検討することとしていました。（分かりやすいよう具体的な値を注記します。本計画策定時の令和2年度焼却対象量計画値37,838 tであるのに対して、実績値は35,185 tであり令和3年度までに焼却対象量の減量が計画どおり進んだものです。）</p>
32	p. 35	<p>表20 未着手の事業</p> <p>「2 粗大ごみ処理手数料の見直しに向けた具体的な検討」にて、「一般廃棄物処理手数料と時期を合わせた見直しを行います。」とありますが、現時点で一般廃棄物処理手数料を見直す予定はあるのでしょうか。あるのであれば、記載した方が良いと思いますが、どうでしょうか？</p>	A	<p>一般廃棄物処理手数料は秦野市伊勢原市環境衛生組合の条例において定められており、同組合が主体となって見直しが行われます。粗大ごみ処理手数料についてもこれと時期を合わせ、令和4年度以降に見直しを行います。いただいた御提案の趣旨を反映し、「一般廃棄物処理手数料と時期を合わせ、令和4年度以降に見直しを行います。」と修正します。</p>
33	p. 36	<p>表22 完了した事業</p> <p>「1 災害廃棄物等処理計画の見直し」が記載されていますが、近年、自然災害が激甚化している中で災害廃棄物を取り巻く環境も変わっていることから、情報収集を継続する必要がある旨を記載した方が良いと思いますが、どうでしょうか？</p>	A	<p>表22は完了した事業について実施した内容を示しているため、今後の施策に関する内容として第5章第6節2 災害対応中「1 災害廃棄物等処理計画及び同初動対応マニュアルの見直し」の項目に、災害廃棄物等に関する情報収集に努める旨を追加します。</p>
34	p. 37	<p>2 評価</p> <p>「～進捗状況をふり振り返り～」とありますが、1頁と内容を合わせて「～進捗状況を振り返り～」にした方が良いと思いますが、どうでしょうか？</p>	A	<p>いただいた御提案どおり修正します。</p>

秦野市ごみ処理基本計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
35	p. 37	2 評価 全体的に、である調からですます調に統一した方が良いと思いますが、どうでしょうか？	D	秦野市廃棄物対策審議会から提出された意見であるため、原文のまま記載します。
36	p. 37	イ 秦野市廃棄物対策審議会の意見 「～概ね順調とされており～」とありますが、9頁と内容を合わせて「～おおむね順調とされており～」にした方が良いと思いますが、どうでしょうか？	A	平仮名表記に統一します。
37	p. 37	イ 秦野市廃棄物対策審議会の意見 「～計画値より良好な状況にあり、一部課題があるものの～」とありますが、どのような課題があるのか例示した方が良いと思いますが、どうでしょうか？	D	秦野市廃棄物対策審議会からの意見であるため、事実と異なる場合を除き原文のまま記載します。
38	p. 38	イ 秦野市廃棄物対策審議会の意見 「・廃棄物減量等推進員やリサイクル指導員の～」とありますが、そもそもこの方はどのような身分の方なのでしょう。秦野市職員なのか、民生委員などの身分の市民なのか、ボランティアなのかかわからないので注釈を設けてください。	A	「秦野市廃棄物減量等推進活動交付金交付要綱に基づき、廃棄物の減量及び資源化並びに再生品の普及に関する啓発や、収集場所の清潔保持に関する啓発などの廃棄物減量等推進活動を地域住民と協力して行う方です。廃棄物減量等推進員は自治会ごと、リサイクル指導員は収集場所ごとに活動します。」と注記します。
39	p. 38	(3) 収集運搬について ア 市の自己評価；順調 文頭にずれが生じています。	A	位置を整えます。
40	p. 39	(5) 最終処分について ア 市の自己評価：順調 文頭にあるように「秦野市伊勢原市環境衛生組合において～」とあるように、この項目においては秦野市伊勢原市環境衛生組合が管理している施設に関することから、市の自己評価を記載する必要があるのでしょうか。	E	実施主体は秦野市伊勢原市環境衛生組合ですが、共同でごみ処理を推進する立場として自己評価を行いました。今後も安定的な最終処分が行われるよう本計画案においても求めています。

秦野市ごみ処理基本計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画面 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
41	p. 39	(6)その他について 17でも記載しましたが、災害廃棄物等処理については近年、自然災害が激甚化している中で災害廃棄物を取り巻く環境も変わっていることから、情報収集を継続する必要がある旨を記載した方が良いと思いますが、どうでしょうか？ [環境資源対策課注：冒頭の「17でも記載しましたが」は当該意見を含む意見書において振られた通し番号]	A	今後の施策に関する内容として第5章第6節2 災害対応中「1 災害廃棄物等処理計画及び同初動対応マニュアルの見直し」の項目に、災害廃棄物等に関する情報収集に努める旨追加します。
42	p. 41	(2)3Rの強化～3R+Renewable～ 「・・・環境への負荷をできる限り低減～」とありますが、負荷を減らすという意味で使う言葉であるなら、「・・・環境への負荷をできる限り軽減～」の方が適していると思いますが、どうでしょうか？ ※低減：物理的な物量を減らすこと ※軽減：抽象的な質量を減らすこと	E	循環型社会形成推進基本法第2条による「循環型社会」の定義を参考としています。
43	p. 42	イ 再使用（Reuse）の促進 「循環型社会の実現、可燃ごみの減量に向けて、ごみの資源化、資源の再生利用を～」とありますが、読点が多く読みづらいので、「循環型社会の実現及び可燃ごみの減量に向けて、ごみの資源化や資源の再生利用を～」の方が良いと思いますが、どうでしょうか？	A	「循環型社会の実現及び可燃ごみの減量に向けて、再使用をさらに促すことが課題です。」に修正します。
44	p. 42	イ 再使用（Reuse）の促進 「リサイクルショップに加え、近年ではフリマアプリの認知度が高まる中、再使用への関心を高める「リユース！もったいないDay!」のような事業を今後も実施する必要があります。」とありますが、フリマアプリのダウンロード数は累計で約9,000万とされているほど、日常生活に根付きつつあります。もちろん、「リユース！もったいないDay!」のような事業の継続も必要だと思いますが、定期的なイベントに留まることから年に数回開くことが限度だと思います。そこで、常に間口を開ける事業としてフリマアプリを使った再使用（Reuse）の促進を行って、アプリに疎い世代をターゲットとした「リユース！もったいないDay!」のような事業の継続をするような両輪で進めたら良いと思いますが、どうでしょうか？	C	いただいた御意見は、今後の参考にさせていただきます。

秦野市ごみ処理基本計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
45	p. 42	ウ ごみの資源化、資源の再生利用（Recycle）の促進 「循環型社会の実現、可燃ごみの減量に向けて、ごみの発生抑制、再使用の促進～」とありますが、読点が多く読みづらいので、「循環型社会の実現及び可燃ごみの減量に向けて、ごみの発生抑制や再使用の促進～」の方が良いと思いますが、どうでしょうか？	A	いただいた御提案どおり修正します。
46	p. 42	ウ ごみの資源化、資源の再生利用（Recycle）の促進 「家庭系ごみの資源化、資源の再生利用は、市民による分別の徹底に支えられており～」とありますが、読点が多く読みづらいので、「家庭系ごみの資源化や資源の再生利用は、市民による分別の徹底に支えられており～」の方が良いと思いますが、どうでしょうか？	A	いただいた御提案どおり修正します。
47	p. 42	ウ ごみの資源化、資源の再生利用（Recycle）の促進 ごみの資源化を促進するためには、新たな分別方法や収集運搬方法の調査や研究を進めることも必要で、その旨も記載した方が良いと思いますが、どうでしょうか？ ※「その他の紙」の回収は紐で縛るか紙袋に入れることになっていますが、縛ることは手間が掛かり、紙袋は不足しがちになります。その代替方法としてチラシを折って袋型にすることも秦野市から提案されていますが、それも秦野市民にとっては手間になることから敬遠されてしまい、いずれは可燃ごみとして捨てられてしまいます。 つまり、今後も可燃ごみの減量を継続しつつ、資源化量を増やすためには、市民の理解を得ながら努力をしてもらいつつ、なるべく手軽に分別できるような方法を考えて導入していくことが必要だと思います。 例えば、ビンやカンを回収する際に使っているカゴを追加で使うことで、紙袋やひもを使う必要もなく手軽に分別しやすくなると思います。	A	第5章第1節5に「資源化を促進する新たな分別方法、収集運搬方法等の研究」として項目を追加します。
48	p. 43	オ 情報提供・情報共有、支援等 「事業系ごみ訪問調査を通じた～」とありますが、よりわかりやすくするために「事業系ごみに関わる訪問調査を通じた～」の方が良いと思いますが、どうでしょうか？	A	「事業系ごみに関する訪問調査を通じた」に修正します。
49	p. 44	(3) 収集運搬 地球温暖化対策についても課題があれば記載するべきだと思いますが、これについては課題がないということでしょうか？	A	「さらに、地球温暖化対策の観点から、効率的な収集に努める必要があります。」を追加します。

秦野市ごみ処理基本計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画面 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
50	p. 44	(5) 粗大・不燃ごみ処理施設の再整備 「～早急に整備を進めるよう協議を行っていく必要があります。」とありますが、これについては秦野市だけでなく伊勢原市にも関わることで、 「～早急に整備を進めるよう、伊勢原市と連携を図りながら協議を行っていく必要があります。」の方が良いと思いますが、どうでしょうか？	A	「共同でごみ処理を行う伊勢原市とともに協議を行っていく必要があります。」に修正します。
51	p. 44	伊勢原清掃工場の180 t/日焼却施設や稼働停止する90 t/焼却施設の解体について、しっかり課題として捉えるべきだ。	A	第2章第2節「3 今後の課題」に記載を追加します。
52	p. 45	(7) 不法投棄 文頭にずれが生じています。	A	位置を整えます。
53	p. 45	(7) 不法投棄 「表23 不法投棄物の撤去実績」が掲載されていますが、徐々に増加している旨も記載した方が良くと思いますが、どうでしょうか？	C	不法投棄物の撤去実績は、撤去件数・重量とも年度によって増減しています。今後も不法投棄ごみの速やかな回収に加え、未然防止策を強化してまいります。
54	p. 47	(1) 国の施策 「・適正処理の更なる推進と～」ありますが、1頁と内容を合わせて「・適正処理のさらなる推進と～」にした方が良くと思いますが、どうでしょうか？	D	第四次循環型社会形成推進基本計画に記載の表記のままとします。
55	p. 48	(1) 国の施策 「・・・閣議決定された第四次循環型社会形成推進基本計画では～」とありますが、「・・・閣議決定された第4次循環型社会形成推進基本計画では～」の方が適していると思いますが、どうでしょうか？	D	環境省HP等を参考に漢数字表記のままとします。
56	p. 53	第1節 基本理念 「・・・環境への負荷をできる限り低減～」とありますが、負荷を減らすという意味で使う言葉であるなら、「・・・環境への負荷をできる限り軽減～」の方が適していると思いますが、どうでしょうか？ ※低減：物理的な物量を減らすこと ※軽減：抽象的な質量を減らすこと	E	循環型社会形成推進基本法第2条による「循環型社会」の定義を参考としています。

秦野市ごみ処理基本計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
57	p. 53	第1節 基本理念 「これは、本市の市民力にほかならないものです。」とありますが、事業系ごみも減少しているので、事業者に対する言葉も加えた方が良いと思いますが、どうでしょうか？	D	事業系ごみは直近実績である令和2年度を除きほぼ横ばいで推移しており、令和2年度はコロナ禍による営業自粛の影響も考えられるため、実績に対する表現は「市民力」のままとします。
58	p. 53	第1節 基本理念 文頭にずれが生じています。	A	位置を整えます。
59	p. 55	方針6危機管理の推進 「・・・国、神奈川県、共同で～」とありますが、42頁と内容を合わせて「・・・国、県、共同で～」にした方が良いと思いますが、どうでしょうか？	A	いただいた御提案どおり修正します。
60	p. 55	コラム 3R、3R+Renewableとは？ 「・・・“3R+Renewable（リニューワブル）」とありますが、43頁では「リニューアブル」と表記されています。どちらか正しい方に統一した方が良いと思いますが、どうでしょうか？	A	「リニューアブル」に統一します。
61	p. 56	図19 市民、事業者及び行政のパートナーシップ 「・情報提供、共有の場づくり」とありますが、「・情報提供、共有の機会づくり」の方が良いと思いますが、どうでしょうか？	A	いただいた御提案どおり修正します。
62	p. 57	市役所内でも分別をやっていることを市民に見せるようにして、率先垂範で取り組む広報も必要。	A	市が率先して3 R+Renewable及び適正処理に取り組むよう第5章第1節4に記載します。
63	p. 58	図20 将来のごみ処理体系 文字を中央揃えにした方が見やすくなると思います。	A	いただいた御提案どおり修正します。

秦野市ごみ処理基本計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
64	p. 59	表○ 最終目標年度における分別収集区分 事業系ごみについては、シュレッダーについても表記した方が良いと思いますが、どうでしょうか。	E	事業系ごみは分別収集を行っておらず、今後も予定していません。 御提案にあります「シュレッダー」はシュレッダーごみのことを指していると解釈しました。シュレッダーごみは古紙類のうちその他紙に含まれます。
65	p. 60	第6節 数値目標 1でも示しましたが、「数値目標の設定に当たっては～」とありますが、他頁と平仮名表記と漢字表記で異なりますので、統一にした方が良いと思いますが、どうでしょうか？	A	漢字表記に統一します。
66	p. 60	第6節 数値目標 「ごみと資源の「推計値」を算出しました。」とありますが、鉤括弧を加える必要がないと思いますが、どうでしょうか？	A	いただいた御提案どおり修正します。
67	p. 60	第6節 数値目標 「・・・令和6年度の焼却対象量が56,000 t（本市33,600 t/年、伊勢原市22,400 t/年）を～」とありますが、40頁では5万6,000 t や3万3,600 t のように漢字表記ですので統一した方が良いと思います。	A	統一します。
68	p. 60	第6節 数値目標 「・・・令和6年度の焼却対象量が56,000 t（本市33,600 t/年、伊勢原市22,400 t/年）を下回るよう～」とありますが、「伊勢原市ごみ処理計画（案）（令和4年度～令和13年度）」の「資表1-1 ごみ及び資源の排出量実績と推計」では令和6年度の焼却対象量の推計は22,400 t となっています。それであれば、ここでは22,400 t よりも上の数値を記載するべきだと思いますが、どうでしょうか？	A	「令和6年度の焼却対象量が56,000 t（本市33,600 t、伊勢原市22,400 t）以下になるよう」に修正します。

秦野市ごみ処理基本計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
69	p. 60	第6節 数値目標 「・・・栗原最終処分場の浸出水～」や「・・・ピットに投入されたが～」とありますが、どのような意味なのかわからないので注釈を設けてください。	A	「栗原一般廃棄物最終処分場内に降雨し、土壌や廃棄物層から染み出した水分を浸出水と呼び、これを適切に薬剤処理します。その過程で汚泥が発生するため、脱水した後、焼却処分します。」と注釈を加えます。
70	p. 60	第6節 数値目標 「・・・発生した汚泥（脱水ケーキ）～」とありますが、本計画では括弧内に注釈が記載されているので、「・・・発生した脱水ケーキ（汚泥）～」の方が良いと思いますが、どうでしょうか？	A	「（脱水ケーキ）」を削除します。
71	p. 60	第6節 数値目標 文頭にずれが生じています。	A	位置を整えます。
72	p. 60	目標値について、市民に対し「あとどのくらい減らさなければいけないのか」をわかりやすく周知してもらいたい。	C	引き続き分かりやすい周知に努めます。
73	p. 60	地球温暖化対策実行計画のCO2削減の資料を付けるべき。	A	いただいた御提案どおり修正します。

秦野市ごみ処理基本計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画面 該当箇所	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
74	p. 61	図21 焼却対象量の減量計画・表28数値目標 それぞれの各年度における数値が合っていないようですが、問題ないのでしょうか？ ※R2は合っていますが、R8とR13は合っていません。おそらく、中間目標値と最終目標値は「図18 焼却対象量の予測」におけるそれぞれの値を使っていると思いますが、図18の値は「予測」であり、図21及び表28は「目標」であることから、予測値を採用することに違和感があります。	A	御指摘の箇所は誤りのため、R2の値を「35,184」、令和8年度の値を「33,573」、令和13年度の値を「32,538」にそれぞれ修正します（修正後の値は図21に一致します）。 ※図18は推計値として扱っており、図21中①に該当します。推計値に対してごみの減量・資源化施策の効果を反映して計画値とし、特に中間目標年度である令和8年度及び最終目標年度である令和13年度における焼却対象量、総ごみ排出量、ごみ排出量（資源除く）及び資源化率（中間処理後の資源化量を含む）の各値を数値目標としています。
75	p. 61	表28 数値目標 表内のアルファベットと数字の半角と全角の統一をしたほうが見やすく良いと思います。	A	半角に統一します。
76	p. 61	「表28 数値目標」がH27から記載しているので、「図21 焼却対象量の減量計画」もH27から記載すべき。また、グラフの色と数字の色を合わせた方がわかりやすい。	A	いただいた御提案どおり修正します。
77	p. 63	空白頁 何故、空白なのでしょう？	E	製本する際、図23をA3サイズとするためです。ページの調整ができれば白紙を省略します。
78	p. 66	1 使い捨て容器包装の使用抑制 「・・・簡易包装の選択などにより回避可能な使い捨て容器包装の～」とありますが、「回避可能」とはどのような意味かわかりません。	A	「市民・事業者に、マイバッグ、マイボトル、通い箱等の活用、簡易包装の選択などによりできる限り使い捨て容器包装の使用を避けるよう呼びかけます。」に修正します。

秦野市ごみ処理基本計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
79	p. 66	2 使い捨て製品の使用抑制 「1 使い捨て容器包装の使用抑制」と同様、「回避可能」とはどのような意味なのでしょう。	A	「市民・事業者に、できる限り使い捨て製品の使用を避けるよう呼びかけます。」に修正します。
80	p. 66	2 使い捨て製品の使用抑制 「3 食品ロスの削減」に「・市が主催するイベントでの食品ロスの削減に努めます。」とありますが、これと同様「市が主催するイベントでの飲食に使用する使い捨て製品の使用抑制に努めます。」を入れた方が良いと思いますが、どうでしょうか。市民や事業者をお願いをする立場として、必要な取り組みだと思えます。	A	市が率先して3 R+Renewable及び適正処理に取り組むよう第5章第1節4に記載します。
81	p. 66	3 食品ロスの削減 「・市が主催するイベントでの食品ロス削減に努めます。」とありますが、それであれば、関係部署等に市民の日イベントを主催している市民活動支援課や上地区いなか暮らしふるさと塾イベントを主催している環境共生課も加えるべきだと思いますが、どうでしょうか？	A	関係部署等として、「観光振興課」の次に「ほか、食品を扱うイベントを主催する課など」と加えます。
82	p. 66	食品ロス削減に向けては、ポスターを作成して店舗に配布するなど発信の方法を検討してはどうか。	C	いただいた御提案は今後の参考にさせていただきます。
83	p. 66	ごみ、プラスチックの削減については、使い捨て製品を使用しない、環境に配慮した製品の製造、購入などを市民、事業者さらに周知、啓発していくべき。	B	第5章第1節1「2 使い捨て製品の使用抑制」、第4節3「1 3 R+Renewableへの事業活動の転換」に掲げ、取り組みます。
84	p. 67	5 リユース促進事業「もったいないDay」の実施 42頁への意見でも記載しましたが、フリマアプリの活用をするなどの検討をする旨の内容も入れた方が良いと思いますが、どうでしょうか？	C	いただいた御意見は、今後の参考にさせていただきます。

秦野市ごみ処理基本計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
85	p. 67	5 リユース促進事業「もったいないDay」の実施 発生抑制として、はだのICT活用推進計画（個別事業）における事業推進計画〈2〉の「業務のペーパーレス化の推進」は、紙資料の削減にも繋がりますので、行政経営課と情報システム課などを関係部署等とした新規項目として記載するべきだと思いますが、 どうでしょうか？ （参考） https://www.city.hadano.kanagawa.jp/www/contents/1001000003546/simple/hadanoicktobetsu.pdf （はだのICT活用推進計画（個別事業））	A	市が率先して3 R+Renewable及び適正処理に取り組むよう第5章第1節4に記載します。
86	p. 67	2 古紙、容器包装プラスチック等各種資源の分別徹底 分別ガイドや分別カレンダー等の各種媒体については、戸籍住民課などの市役所窓口などでも配付していると思いますので、配布に関わっている部署等を関係部署等に列挙するべきだと思いますが、どうでしょうか？	C	いただいた御意見は今後の参考にさせていただきます。
87	p. 67	草木類の資源化について、処理費用を抑えるためにも各家庭での減量や資源化を呼び掛けてほしい。	A	第5章第1節1「4 生ごみの水切り」を「4 生ごみの水切り・草木類の乾燥」に修正するとともに、引き続き分別の徹底に加え、家庭での草木類の減量や資源化の呼びかけを図ります。
88	p. 67	新規ディスプレイ設置件数を伸ばすよう、利用者の声を紹介する取組などを行っていくべきだ。	C	いただいた御意見は今後の参考にさせていただきます。
89	p. 67	電動式生ごみ処理機よりもコンポストなど非電動式生ごみ処理機の普及をより進めていくべきだ。	C	いただいた御意見は今後の参考にさせていただきます。
90	p. 67	容器包装プラスチックの汚れ具合の判別で苦労する。現在の状況がわかるよう周知した方がよい。	C	引き続き容器包装プラスチックの汚れ具合に応じた分別方法について周知します。
91	p. 67	ストックハウスや店舗での資源の回収は、まだ知らない人も多くいるため、もっと広く周知してはどうか。	B	第5章第1節2「3 ストックハウスの利用促進」に掲げ、引き続き今後も広く周知を行うよう努めます。

秦野市ごみ処理基本計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
92	p. 67	外国籍市民や分別の意識が薄い方などに、ごみ分別促進アプリの利用、登録について、さらに周知していくべき。	B	引き続き分別アプリについて周知します。
93	p. 67	衣類などはどの程度まで資源となるかわからないので、動画で周知すると良い。	C	いただいた御意見は今後の参考にさせていただきます。
94	p. 68	生ごみ持ち寄り農園事業は、あり方について検討が必要ではないか。	C	各家庭の庭での資源化や地域における資源化のモデルとして機能しているものの、現在の方法のまま事業を拡大することは難しいため、既存の農園や農業者との連携を含めて検討します。
95	p. 69	ゼロカーボンにもつながるため製品プラスチックの回収について、検討して進めるべき。	B	第5章第1節5「1 製品プラスチックの資源化の検討」に掲げ、検討を進めます。
96	p. 70	今後も市民力で減量を図っていく必要があるため、動画を活用して分別方法などを周知してはどうか。	C	「【はだのジャポン3】秦野のヒーロー わけるンジャー編」など動画による周知を強化します。
97	p. 70	食品ロスの削減はなかなか難しい。生ごみ減量に向けては、ディスプレイの普及にもっと努力するべき。	C	引き続きごみ減量通信、市ホームページなどを通じて、ディスプレイを含む生ごみ処理機の普及啓発に努めます。
98	p. 70	包装紙など資源化できるものは資源にするよう引き続きPRしていくべきだ。	B	分別ガイド、分別カレンダー等各種媒体を用いて広く市民にPRし、分別の徹底を呼びかけます。

秦野市ごみ処理基本計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画面 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
99	p. 70	秦野市伊勢原市環境衛生組合による資源化施策にかかる費用について、排出状況に応じて、両市で負担すべきである。	C	伊勢原市及び秦野市伊勢原市環境衛生組合と協議し、適正な費用負担を行います。
100	p. 71	家族が多い世帯ほど負担が大きくなる。秦野市は有料化しない方向で考えてほしい。	B	可燃ごみ焼却処理の1施設体制化のための減量施策としては有料化は実施しない考えです。 なお、ごみの発生抑制や負担の公平性といった課題も踏まえ、将来的な家庭ごみ有料化の導入については研究を進めます。
101	p. 71	将来的にごみの有料化も見据えて、研究、検討を進めるべき。	B	ごみの発生抑制や負担の公平性といった課題も踏まえ、将来的な家庭ごみ有料化の導入については研究を進めます。
102	p. 72	夜間戸別収集について、戸別収集による可燃ごみの減量効果があるのか。	C	将来、家庭ごみ有料化を検討する場合に検討材料の一つとします。
103	p. 73	2市が使用する車両における低公害車の使用継続 「市が使用する車両において、低公害車の使用を継続します。」とありますが、カーボンニュートラルの実現のためには、スピード感をもって進める必要があると思いますので、継続だけでなく、新規車両を導入する必要があると思います。そこで、「市が使用する車両において、低公害車の使用を継続するとともに、新規車両の導入に勤めます。」の方が良いと思いますが、どうでしょうか？	A	「具体的取組」の項目を「2市が使用する車両における低公害車の使用」に修正し、内容を「市が使用する車両において、低公害車の使用を継続するとともに、車両更新の際についても低公害車の導入に努めます。」に修正します。

秦野市ごみ処理基本計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画案 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
104	p. 73	3 委託事業者が使用する車両における低公害車の使用推奨 「委託事業者の使用する車両における低公害車の導入を促します。」とありますが、委託契約するための条件として低公害車を使用していることとすればよいと思いますが、どうでしょうか？	C	ごみの収集運搬委託業務は、一般競争入札で実施しておりますので、入札の競争性、公平性、公正性を考慮し、今後の参考とさせていただきます。
105	p. 73	4 許可業者が使用する車両における低公害車の使用推奨 「許可業者の使用する車両における低公害車の使用を推奨します。」とありますが、許可をするための条件として低公害車を使用していることとすれば良いと思いますが、どうでしょうか？	C	低公害車の使用を許可条件とすることは、事業者の事業活動の制限となるため、引き続き、許可業者の使用する車両における低公害車の使用を推奨します。
106	p. 74	4 屋外焼却の禁止の周知及び関係機関と連携した適切な指導 「廃棄物の屋外焼却の定義、法律で禁止されていること、禁止の理由について、周知します。」とありますが、読点が多く読みづらいので、「廃棄物の屋外焼却の定義や法律で禁止されていること、禁止の理由について周知します。」の方が良いと思いますが、どうでしょうか？	A	いただいた御提案どおり修正します。
107	p. 75	2 清掃ボランティアの支援 「道路アダプト制度や～」とありますが、どのような意味なのかかわからないので注釈を設けてください。	A	「道路アダプト制度や公園里親制度」を「道路・公園等里親制度」に修正し、「市民団体等が公共施設の里親（アダプト）となり、任された施設の管理を行う制度」と注釈を加えます。
108	p. 80	伊勢原市と共同で可燃ごみ処理を行っているため、分別の品目や出し方について歩調を合わせて進めるべきだ。	C	処理施設の所在状況など両市で異なる部分もありますが、今後も歩調を合わせて可燃ごみの減量に取り組みます。
109	p. 80	見栄えをよくするため上げ底にした容器包装などを事業者が見直すよう、国にも働きかけを行ってほしい。	A	いただいた御提案を参考に国・県等へ要望します。

秦野市ごみ処理基本計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画面 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
110	p. 80	バイオマスプラスチック＝生分解性であると誤解されないよう市民に周知してほしい。	C	いただいた御意見は今後の参考にさせていただきます。
111	p. 82	3 「エコスクール」「ごみの話」等の実施 先日にYoutubeで公開された「【ハダノジャポン3】秦野のヒーロー わけるンジャー編」を拝見しましたが、これに出演されている「ワケルンジャー」などがエコスクールにも出演していると思います。それであれば、目元が透けて見えているので、子ども向けにやられるのであればもっと丁寧な衣装にした方が良いと思いますが、どうでしょうか？ (参考) https://www.youtube.com/watch?v=pwUHGik1ZwA (【ハダノジャポン3】秦野のヒーロー わけるンジャー編)	C	いただいた御意見は、今後の参考にさせていただきます。
112	p. 82	3 「エコスクール」「ごみの話」等の実施 「・・・小学校4年生を対象に「ごみの話」や～」とありますが、何故、小学校4年生のみを対象としているのでしょうか？ もっと間口を広げて、小学校高学年や中高生を対象としても良いと思いますが、どうでしょうか？	B	「ごみの話」は、小学校4年生の社会科の授業において「ごみはどこへ」を学びますので、この授業に合わせて実施しています。また、「はだのエコスクール」には小学校高学年や中高生を対象とした内容もあり、学校の希望に応じて実施しています。
113	p. 82	ごみ処理に多大な経費がかかっていることや有料化の課題等について、市民に理解してもらえよう引き続き、周知してほしい。	A	「資源も減量が必要？」としてコラムを追加します。
114	p. 82	自己搬入の方法についてもっと周知をしてはどうか。	C	引き続き分別ガイド、分別カレンダー、市ホームページ、分別アプリなどで周知を図ります。
115	p. 82	ごみ減量の周知について、子ども達に環境教育的な部分をもっと進めるべき。	B	ごみと資源に関する子どもたちの関心が高まるよう取り組みます。

秦野市ごみ処理基本計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画面 該当箇所	御意見・提案等の概要	区 分	御意見等に対する考え方
116	p. 82	ごみ処理の状況について、より分かりやすい周知に努めてほしい。	C	今後もより分かりやすい情報発信を行うよう努めます。
117	p. 83	1 災害廃棄物等処理計画及び同初動対応マニュアルの見直し 近年、自然災害が激甚化している中で災害廃棄物を取り巻く環境も変わっていることから、情報収集を継続する必要がある旨を記載した方が良いと思いますが、どうでしょうか？	A	「災害廃棄物等の処理に関する情報収集に努めるとともに、国の方針や市地域防災計画等を踏まえ、災害廃棄物等処理計画や同初動対応マニュアルについて適宜見直しを行います。」に修正します。 また、災害廃棄物等への対応も含め、今後ごみ処理に関する情報収集に努めます。
118	p. 83	3 訓練の実施 「災害発生時に職員が迅速に初動対応できるよう、平時から継続的に訓練を行います。」とありますが、実際に災害廃棄物を排出するのは市民や事業者であることから、市民や事業者も含めた訓練を行う必要があると思いますが、どうでしょうか？	C	いただいた御意見は、今後の参考にさせていただきます。
119	p. 83	3 訓練の実施 訓練した様子について、広報紙やホームページ等で周知することで市民等の意識啓発につながるので、積極的に周知すべきだと思いますが、どうでしょうか？	C	いただいた御意見は、今後の参考にさせていただきます。
120	全般	数字と英字の半角もしくは全角の統一をした方が見やすいと思いますが、どうでしょうか？	A	統一します。
121	全般	漢字表記と平仮名表記で統一されていない文言がありますので、統一をした方が見やすいと思いますが、どうでしょうか？	A	統一します。
122	全般	そもそも、秦野市含めて地方自治体の行政活動から発生されるごみについては、事業系ごみという扱いでしょうか？ それに関わる整理について記載されていないで、記載するべきだと思いますが、どうでしょうか？	A	市が率先して3 R+Renewable及び適正処理に取り組むよう第5章第1節4に記載します。